

## 4月23日：第1四半期の好決算と継続的な資金流入からベトナム株は反発

「良好な第1四半期決算と継続的な資金流入から、今週のベトナム株は反発すると予測される」（アナリスト）

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は金曜日1.69%（20.71ポイント）高の1,248.53ポイントで引けた。

同指数は先週0.79%高で取引を終えていた。

先週の日当たりの平均売買高は7億8,700万株で、同じく売買代金は20兆9,000億ドン（9億910万米ドル）であった。

「先週末の売買高は6.56%減少したが、なお50日平均を上回って推移した。この兆しは市場への資金流入が安定的に継続していることを示している」（SSI証券）

「それゆえVN指数は1,200～1,227ポイントの下値支持線付近に下落し反発した後、上昇トレンドに戻る可能性を示した。直近の上値抵抗線である1,286ポイントを上抜ければ、同指数の上昇トレンドは強まるだろう」

「先週末、金融銀行セクターの上昇によりマーケットは再び勢いを得た。そしてこの上昇トレンドは他の全てのセクターに波及した」（MB証券のアナリスト）

「この時期は第1四半期の好決算のおかげで株価、特に大型株の株価が上昇している。この上昇トレンドは今年5月1週も続く可能性がある」（同証券会社）

「テクニカル的には現在の株価上昇のスピードが上がれば、1,300ポイントの上値抵抗線はすぐに抜き去るだろう。しかし同指数が新高値を捉える前に、下値支持線を試す利益確定売りが発生するかもしれない。短期的には1,300～1,330ポイントが目標株価になるだろう」（同証券会社）

ベトドラゴン証券もMB証券と同じ見通しを示し「VN指数の株価は先週末に一連の下落後に回復した。この株価の回復は投資家が自信を取り戻したことを示している」と述べた。

一方でほとんどの銘柄が見事に回復し、マーケットはプラス圏に入った。

「VN 指数は4週連続で上昇し、出来高もわずかに増えた。投資家がこの時期のマーケットに大きな関心を持っていることを示している」（サイゴンハノイ証券 (SHS)）

「先週、VN 指数は1,250 ポイント付近で、もみ合い大きく変動した」（同証券会社）  
先週、外国人投資家は両市場（ホーチミン市場、ハノイ市場）で1兆1,300億ドンを売り越した。

売り越し金額はホーチミン市場で1兆1,000億ドン、ハノイ市場で250億ドンを超えた。

セクター別の値動きに関しては、情報技術セクターが先週、最も値上がりし、その中でも FPT (FPT) が+4.1%、CMC 技術グループ (CMG) が+0.3%と主に大型株の上昇が目立った。

モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) が+10.1%と大きく上昇したこともあり、消費サービス業がセクター別の上昇率で2位につけた。

ベトコムバンク (VCB) が+8%、サイゴンハノイ銀行 (SHB) が+4.7%、VP バンク (VPB) が+4.2%、アジアコマーシャル銀行 (ACB) が+0.9%、軍隊商業銀行 (MBB) が+0.3%、テクコムバンク (TCB) が+0.1%と銀行株も堅調だった。

その反面、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナムコーティング (PVB)、ビンソン製油石化 (BSR)、PV オイル (OIL)、ペトロベトナム・ドリリング (PVD) と石油関連株は振るわなかった。

「今週、VN 指数は引き続き1,217~1,225 ポイントの下値支持線に下支えされるだろう。もし指数がその価格帯から外れれば、短期的により下値の支持線に突入するかもしれない」（バオベト証券の株式アナリスト Tran Xuan Bach 氏）

「加速した本日の勢いから、引き続き今週最初の取引で1,255~1,268 ポイントの上値抵抗線を試しに向かう可能性がある。だが、同指数は上値抵抗線に近づくと再び下落する可能性がある」（同証券会社）

「投資家はポートフォリオのうち20~35%は株式を保有し続けるべきだ。中期的に保有するのが良い。もし来週1,200~1,220 ポイントに再度株価が下落するなら、多くの

資金が既存のポジションとともにロングポジションを取りに向かうことが考えうる」  
(同証券会社)

ハノイ市場では、HNX 指数が 1.18% 安の 283.63 ポイントだった。

同指数は先週 3.23% 下落していた。

先週の日当たりの平均売買高は 1 億 6,000 万株で、同じく売買代金は 3 兆ドンだった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。